



観念なさい！
あんこくこうしゃく
暗黒公爵

ニシム 妊夢

少女剣士のお務め

凛々しき少女剣士を襲う
催眠の魔手！

だが

魔法剣士
アンリゴールド
噂以上の腕だな

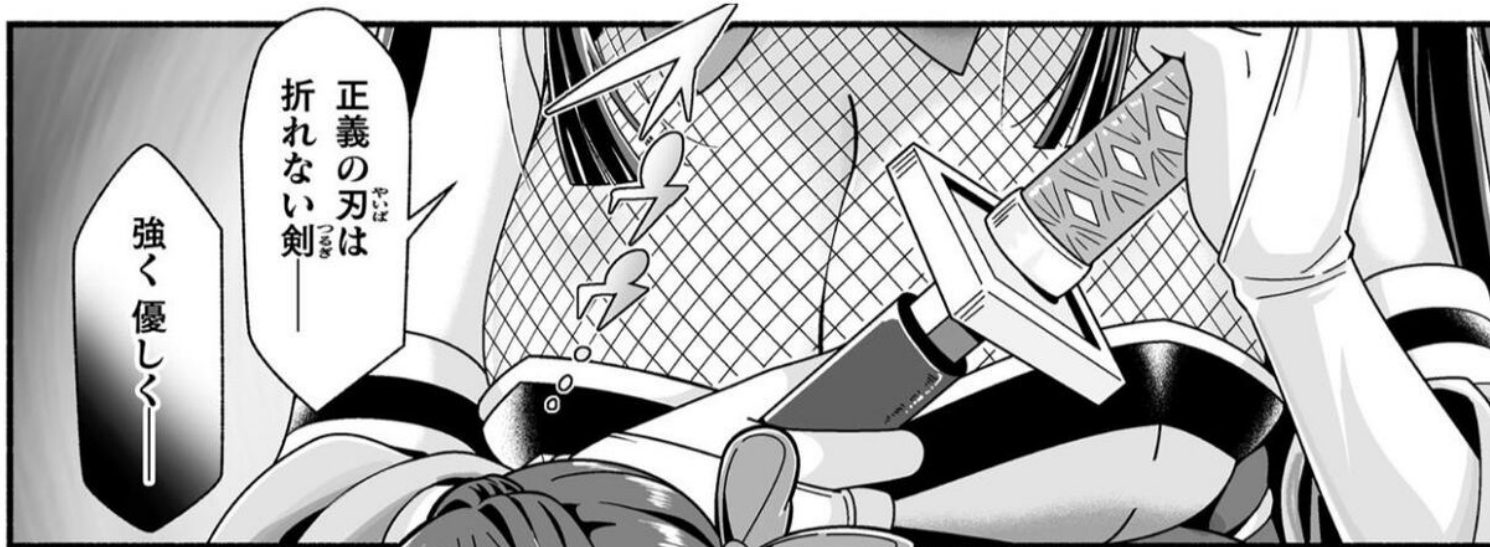
これは
どうかな

!?

こんな
こけおどし！

魔法剣士は
正義の味方…！

負けは
しませんわ！



正義の刃は
折れない剣

強く優しく



太くて

オス臭い

そう…
こんな風に…



剣のお世話は
剣士のニンム…

私に任せて
ください…

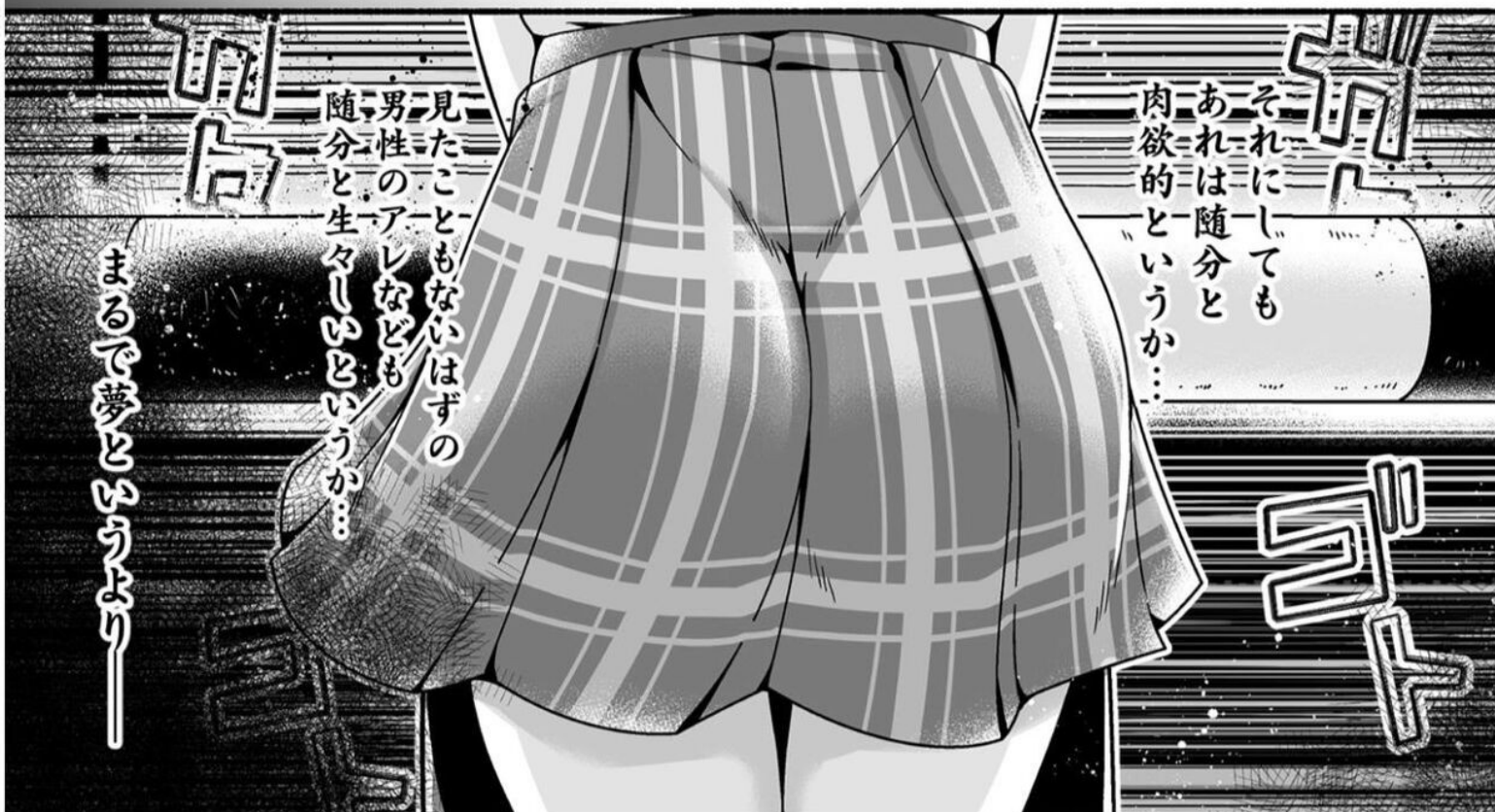
ああなんて
立派な剣



ここ最近
同じような
夢ばかり…
健康的な思春期
女子ですから
あんな夢を見るコトも
あるでしょうが…



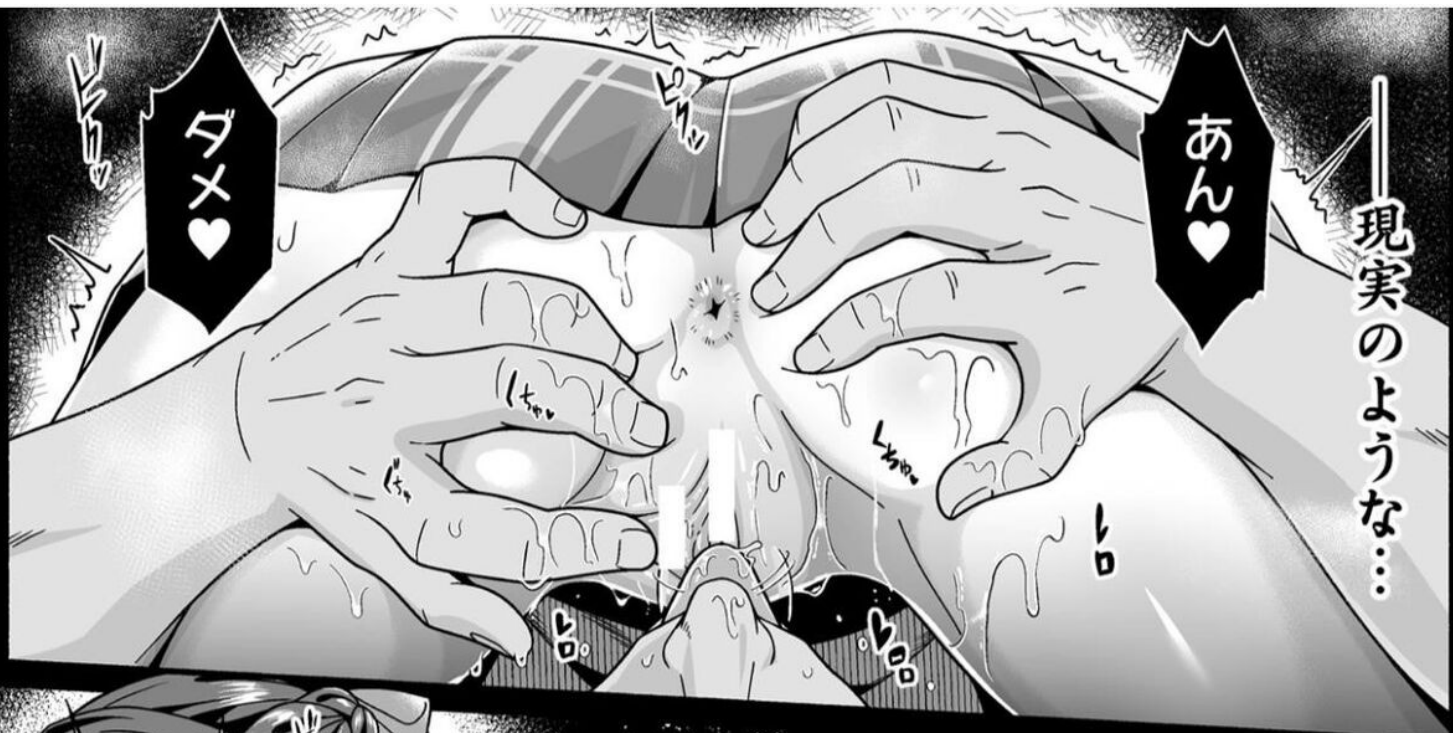
夢…?



それにしても
あれは随分と
肉欲的というか…

見たこともないはずの
男性のアレなども
随分と生々しいというか…

まるで夢というより





放課後まで
居眠りなんて...

疲れて
いるのかしら



私学校で
なんてことを...

ぬる...



また...!



しばらく
お休みを
頂くのも
いいかも

...わね
しません



温泉にでも
浸かって

美味しいものを
食べてー

いば

いば

いば

いば



ああこんなに汚れてしまつて…



いえ、これは夢の中でしたわね…

でも、
身体を伝う精液の
生温かさとお
このツンとした臭い



本当にリアルな夢ですわね…

ところがどっこい





現実です♪

チャオ♪

暗黒公爵
死んだはずでは

!!!

マインドトリック
俺はお前に殺された…
頭の中に理力を注いで
お前はそう思い込んで
いただけさ

おっと
判断が
早いねえ

便利だろ？
俺は戦闘よりも
こういうのが
得意なのさ

こ…
殺す…ッ



そうそう
他にも色々
かけさせて
もらったんだ



「俺を傷つけては
いけない」

「俺の命令には
必ず従う」

「肉体は常に
発情させておく」

は…
放しなさい…

エトセトラ
e t c . . .



最近見ていた
妙な夢…
それも全部
現実だ

俺のを美味^{うま}そうに
しゃぶって
子犬みたいに
腰を振って

いつもは凛とした
魔法剣士さまも
案外と可愛い
もんだよなあ

どうして…
殺さないのです
私の身体を
自由にできた
というのなら！

強い奴ほど
殺すよりも
屈服させ手駒に
したほうが
ずっと得だろ

誰が
手駒になど…

俺はこの方法で
何人もの魔法少女どもを
手に入れてきた

戦闘員にも
肉奴隷にも使える
女たちをな

魔法剣士の私が
叩き斬って
みせます！！

許せません…！

こんな…
人間の自由と
尊厳を奪う術

ハハハ
全然抵抗できて
ないじゃねーか

くっ…よくも
こんな…
痴女みたいな
真似を…!

そんなんで
俺の術を
破れるのか?

魔法剣士は…
ヒーローは
負けないのです!

でも
大丈夫か?

いいねえ
ヒーローは
そうで
ないとなあ

なあ?

もう負けそう
じゃあないか?

ツ!!!

よし
なら正々堂々
決闘といこう
じゃあないか

決闘…？

もしお前のまんこに
こいつを突っ込んで
それでも俺の術から
抜け出せたなら
お前は自由だ

俺はもう二度と
お前には近づかん

だが抜け出せなければ
お前は俺の肉奴隷になる

そそののどこが
決闘だというのです！

「剣士なら
勝負する」
だろう？

そそれは…
と当然です！
剣士ですから！！

そう…
これは…決闘…
剣士ならば…
受けて
立たなければ…

どんな決闘であること
勝てばよいだけの
ことですわ

はー！
こんな……
おちんぽ……

私が
成敗して……

う……
動けない……

大きい……

異物感……

それは
耐えられる……

おいおい
さっきの威勢は
どうした？

何度も下の口で
啜えてるだろ？

ああ
覚えてないん
だっけか

だけど……



へへ危うく
発射しそうに
なっちまったぜ

に肉体を
鍛え上げた
魔法剣士
ですもの…
おまんこの
筋肉も例外では
ありませんわ!

なら!
こっちも本気で相手
してやるよ!!

ほら
今度はお前が
「イク度」に
感度が10ずつ
増えていくぞ





嫌だ...

消え...

ゴボ...

ブルブル...

カワ...



は...

私が...

消えて...

あ...

?

消えてない…

私は…
魔法剣士!

意識も感覚も
自我も元のまま
ですわ
つまり
支配の術から
逃れられた…?
ということ…

勝負は
私の勝ち!

ふうん…
俺の術から
抜け出した
ってのかい?

当然ですわ
魔法剣士は
負けたり
いたしません

魔法剣士は
おちんぼ
性器の味方
ですわ!

おちんぼ
性器を鎮めたければ
いつでも
お相手いたします!

それが
魔法剣士の
妊務ですから!!

そうですわ…

支配
完了

支配
完了

END